2008 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名［Dudley Intermediate School］　　担当教諭［荒川　純江　・　Wati Cabelawa］			
児童生徒の学年・クラス・参加人数：［ clss８　１８名 ］			
実施期間：2008　年　９ 月　～　2009　年　３ 月			
交流：無・有（国名［ 日　本　］学校名［　寝屋川市立友呂岐中学校　］学年［１～３］担当教諭［　細田　英美　］			
実施教科・時数 ・関連させたものをすべて ・総合学習では（英語活動環境）など具体的に	教科	単元名	時数

■作品について教えてください。

題（テーマ）	Understanding each culture between Fiji and Japan
絵に込めたメッセージ	私達のイメージする日本 絵の中のフィジアン男性のタパのから続く矢がすりの部分は、国が違っても末長くいい関係を築いていきたいという思いを込め横に長く描いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	９月	・自己紹介カードを作り、掲示板に書き込む。 ・学校紹介ビデオを作る。	・掲示板に自分達の写真や情報がアップされる事が初めてだったため、どういう事なのか中々理解出来なかったようだ。	
情報収集	１１月 ２月	・JICA Office で、日本とフィジーの文化交流の為のテレビ会議を行う。 ・日本の絵が送られてきた時、自分たちは何を描くのか決定するために、日本紹介をした。	・テレビ会議本番に向けて、日本語の挨拶、日本の歌、フィジー文化の紹介、フィジーのダンスを毎日練習した。 ・本番は、自分たちの姿がテレビに映っている事にとても興味を示していた。	
テーマ検討	９月	・テーマは相手校の先生との話し合いで、大きく「文化」と決定した。 ・テレビ会議の内容は、このテーマに基づき、フィジー文化の何を紹介したらよいか、決めた。	・何を描いたらよいかイメージ出来る様に、また日本の生徒が理解しやすいように、テーマに基づいて、現地の先生と子ども達とテレビ会議の内容を決め、練習に取り組んだ。 子ども達は本番をとても楽しみに、自分達の練習にも意欲的に取り組んだ。	
制作	２～３月	・日本側の絵をじっくり鑑賞して、自分たちが何を描きたいか、何を描くのか決定した。	・こんなに大きな絵を描けることや、絵の具ができる事がとても嬉しかった様子で、毎回の授業を楽しみにしていた。	
鑑賞	１月	・日本から絵が届き、第１回目の授業で鑑賞の授業を行った。 ・全ての絵が完成し終わった後、日本	・半分描かれた日本側の作品に興奮していた。フィジーの事をとてもよく調べ、描かれている事に感動していた。	

		が春休みに入ってしまった事や時間的な問題から相手校との作品の鑑賞・意見交換等はできなかった。		

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したものから順に１～５まで記入してください。順位のつかないものも記入してください）

（５：とても身についた　４：身についた　３：どちらともいえない　２：あまり身につかなかった　１：まったく関連がなかった）

順位	つけたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
	コミュニケーション・スキル	(5)・４・３・２・１	日本の挨拶、歌、日本語での自己紹介ができるようになったから。
	情報活用能力（収集・発信）	５・(4)・３・２・１	日本についての資料を渡すと、何度も読み、質問もしてくれたから。日本への発信がもっとできると良かった。
	人間関係をつくる(交流相手･学級内)	５・４・(3)・２・１	相手校の生徒を知ったのは、テレビ会議の時のみであったから。パソコンを持っていない生徒がほとんどの為、掲示板の利用も教師のみであった。
	協同作業をする力（役割・段取り）	(5)・４・３・２・１	全ての生徒が自分の担当となった部分は責任を持ってしっかりと色を染めることができたから。
	異文化の理解	５・(4)・３・２・１	テレビ会議から学んだ事や、日本の資料を読み、質問する姿から、日本を知ろうとする姿勢を感じたから。
	自文化の理解・自分を見つめる	(5)・４・３・２・１	テレビ会議では、自分達の文化を自信を持ってしっかり紹介することが出来たから。
	表現力	５・(4)・３・２・１	色染めの際、自分で色を決めたり、塗りたいように自由な表現をさせたかったが、必ず確認をとってからでないと進められなかった。テレビ会議では、自分達の文化を自信を持ってしっかり紹介することが出来たから。
	学習を追究する意欲	(5)・４・３・２・１	授業が終わる度に、次は何をするのか聞いてくる生徒が多くいたから。
	作品を鑑賞する力	５・(4)・３・２・１	作品全体の鑑賞はじっくりできなかたが、日本の作品が送られてきた際、じっくりと鑑賞することができたから。鑑賞する、という経験がほとんどない子ども達にとって、いい経験だった。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
・国を越えて、協力し合って、何かひとつのものを作り上げることができ、子ども達はもちろん、先生方も含め大きな感動を味わうことができた。 ・日本について、調べたり考えたりすることができ、国際交流を行っているという実感があった。 ・テレビ会議は視覚的に相手の様子を知ることができ、とても感動が大きかった。	・お互いの国を紹介する時間をもっととれると良かった。 ・掲示板や手紙等を通し、子ども達同士がもっと積極的に関わることができるような環境を整えたかった。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

国が違っても、協力し合って、こんな素晴らしい作品が仕上げることが実際にできてしまい、仕上がったときの感動はとても大きなものでした。素晴らしい企画だと思います。また、とても親切な対応をありがとうございました。また、時々、塩飽さんのメールの中でのコメント（国際交流に関する考えや意見や感想等）を知れて、とても勉強になりました。